

## 井の口川水系整備計画(案)についてのアンケート調査結果

福井県では、井の口川水系河川整備計画の原案について、学識経験者の意見を聞くとともに、住民の皆さんのご意見も参考とするため、平成16年5月27日に住民説明会を開催し、その内容についてアンケート調査を実施しました。

また、住民説明会に参加いただけなかった方々にも、井の口川水系河川整備計画原案の縦覧とアンケート調査を実施して、その結果を整理しました。

### アンケート調査実施日

「井の口川水系河川整備計画(案)住民説明会の当日および事後

当日アンケート調査 : 平成16年5月27日(木)

<住民説明会> 会場: 粟野公民館 時間: 19:00~20:30

事後アンケート調査1 : 平成16年6月30日(水)~7月13日(火)

<原案縦覧およびアンケート会場>

敦賀土木事務所1Fロビー 敦賀合同庁舎1Fロビー

敦賀市役所1Fロビー 粟野公民館

事後アンケート調査2 : 平成16年7月13日(火)~7月30日(金)

<沿川地区アンケート> 沿川地区6地区への直接アンケート

### アンケート調査について

アンケート回収結果 : 35(当日) + 49(事後) = 84回答

設問数 : 全7問(【設問1.】~【設問7.】)

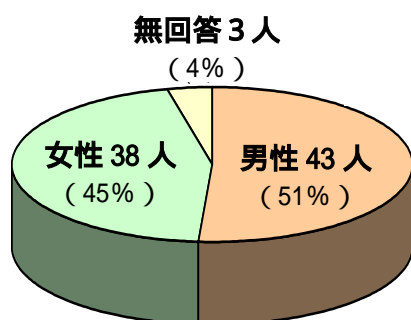
### アンケート調査結果

#### 【設問1.】性別

男性

女性

【回答】

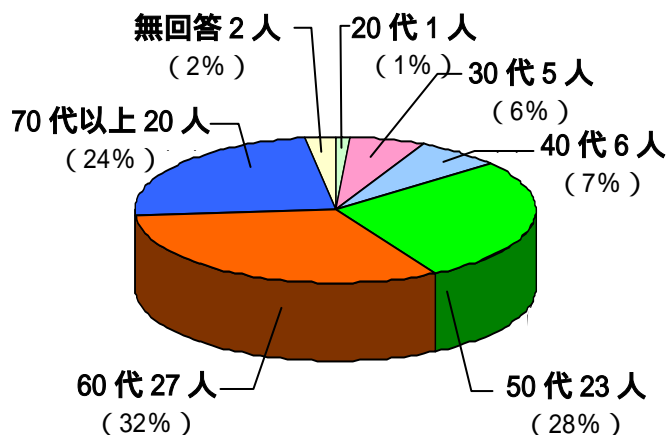


#### 【設問2.】年齢

10代 20代 30代 40代

50代 60代 70代以上

【回答】



<【設問1.】と【設問2.】の結果要旨>

男性の割合51%、女性の割合45%で、男性と女性ほぼ半分の割合で回答をいただきました。

50代~70代(昭和10~20年代前後生まれ)の方が84%でした。

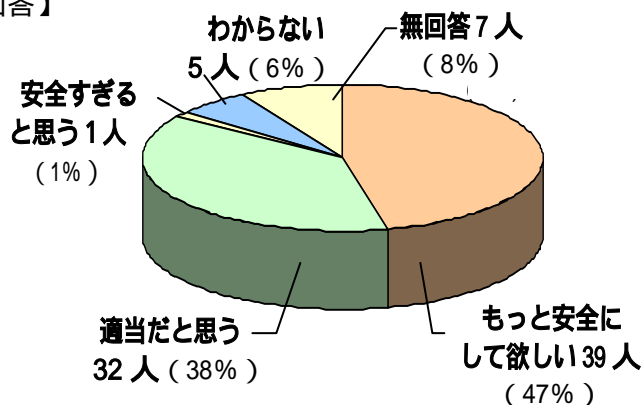
### 【設問3.】治水整備について

井の口川の河川改修における地水整備の目標設定にあたっては、全国的な考え方を参考にして、50年に1回程度発生する降雨によって起こる洪水に対応できる河川断面の確保を計画しています。

整備計画の治水の目標設定について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

もっと安全にしてほしい  
適当だと思う  
安全すぎと思う  
わからない

【回答】



### 【対応】

(1) 治水対策に対する住民意識(アンケート回答結果から)

アンケートの回答から「もっと安全にしてほしい46%(39人)」、「適当だと思う38%(32人)」併せて84%の方が治水安全度向上のための河川改修を望まれています。



**「想定される洪水を安全に流下させるため、河川改修を実施します」**

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.8 参照)

(2) 治水対策に対する自由意見(【設問7.】自由意見から)

治水対策に対する具体的な住民要望

- 1)70年の人生の中で何回も洪水被害を体験している。もっと安全にしてほしい(当日24)
- 2)今回の福井豪雨を参考に、自然の変化に対応できる計画で整備してほしい(事後18)

「もっと安全にして欲しい46%(39人)」の理由

46%(39人)の方が「もっと安全にしてほしい」と答えています。その理由を自由意見から整理すると、過去の災害や今回の福井豪雨災害を背景に「より安全な治水整備(事後16、28、42)」が望まれているようです。



【河川管理者の回答】

井の口川の治水安全度の目標は、計画規模の設定に関する全国の事例等を参考にして1/50年の計画規模としていますが、これは「県内の他河川とのバランス」や「費用対効果」といった指標について鑑み、適正な計画規模であると判断しています。

なお、計画流量については、敦賀市の都市計画における開発を見込んだ将来的な流出形態を考慮しています。今回の福井豪雨の様な降雨が発生した場合に備え、雨量情報の提供や警戒避難体制の確立といったソフト面での対応にも取り組んでいきます。

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.13 参照)

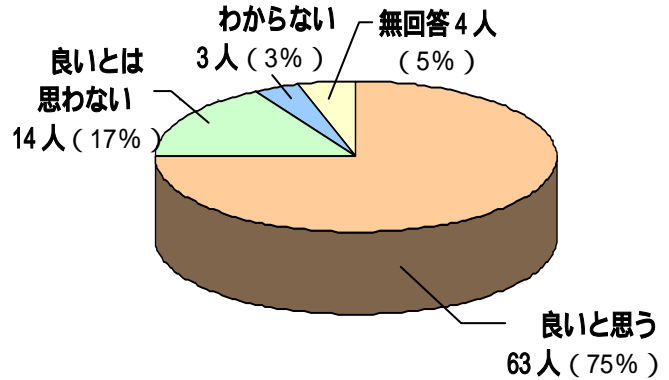
#### 【設問4.】河川環境・生態系への配慮について

井の口川水系の河川改修にあたっては、多様な生物が生息する良好な環境を保全するよう、みお筋の復元や、瀬・淵の形成を図るなど、河川環境の保全と回復や生態系への配慮に努めます。

河川環境の保全について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

良いと思う  
良いとは思わない  
わからない

【回答】



#### 【対応】

- (1) 河川環境・生態系への配慮についての住民意識(アンケート回答結果から)

アンケートの回答から、河川改修にあたり河川環境の保全対策を実施することが「良いと思う」と答えた方が75%(63人)を占めました。多くの方が河川環境、生態系への配慮を求めています。



**『自然環境の確保・動植物の生息環境の保全に配慮し、対策を実施していきます』**

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.9.12 参照)

- (2) 河川環境・生態系への配慮についての自由意見(【設問7.】自由意見から)

河川環境保全に対する具体的な住民要望

- 1)食物連鎖の観点进行考慮し、保全生態系への配慮を実施して行く必要がある(当日10)
- 2)かつて鮭が遡上していた。水質改善と環境保全に配慮をして欲しい(事後13)

「良いと思わない17%(14人)」の理由

17%(14人)の方が「良いとは思わない」と答えています。その理由を自由意見からみると「植生の促進、瀬・淵の形成は河川流下の阻害となる」(当日4、事後22)、「草刈り等の維持管理が伴わないようでは推進しかねる」(当日4、事後41)と述べられています。



【河川管理者の回答】

- 1) 治水上の安全度を確保(安全に洪水を流下することのできる河川断面の確保)をした上で、環境に配慮した改修を実施します。
- 2) 改修後の良好な河川環境を維持するためにも、地元と協働した河川維持活動に取り組みます。

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.13 参照)

## 【設問5.】親水整備について

井の口川の河川改修にあたっては、階段の設置や河岸の緩傾斜化など、住民の皆さんが水辺に近づけるような工夫を計画しています。

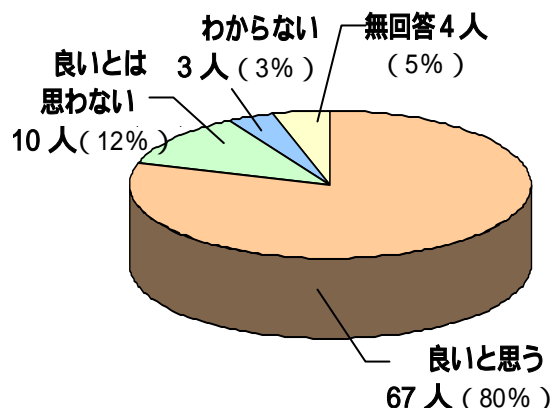
親水機能の向上について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

良いと思う

良いとは思わない

わからない

【回答】



## 【対応】

(1) 親水整備についての住民意識(アンケート回答結果から)

アンケートの回答から、親水整備を実施することが「良いと思う」と答えた方が80%(67人)を占めました。多くの方が親水整備を求めています。



**「身近な水辺空間、自然と親しめる河川空間として親水機能の整備を行います」**

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.9.12 参照)

(2) 親水整備についての自由意見(【設問7.】自由意見から)

親水整備に対する具体的な住民要望

- 1) 子供の水の事故が起きないように安全な設計として欲しい(当日 11、27、事後 1、18、27)
- 2) 水辺に近づけるだけでなく、散歩したりできるような素晴らしい環境を整備して欲しい(事後 16)
- 3) きれいな水質が前提となる(事後 3、13)

「良いとは思わない12%(10人)」の理由

12%(10人)の方が「良いとは思わない」と答えています。その理由として自由意見からみると「危険である(当日 19)」、「人が近づきやすいとゴミも増える(事後 25、41)」、「整備後の管理が伴わないとダメ(事後 9)」と述べられています。



## 【河川管理者の回答】

1) 階段工や緩傾斜護岸の整備にあたっては安全性に配慮した計画とします。

敦賀市が実施する下水道の整備により、今後水質は改善されると予想されます。また、今後も水質の把握に努めていきます。

2) 施設整備後の維持管理については、地元および敦賀市とも協力して取り組んでいきます。

## 【設問6.】維持管理について

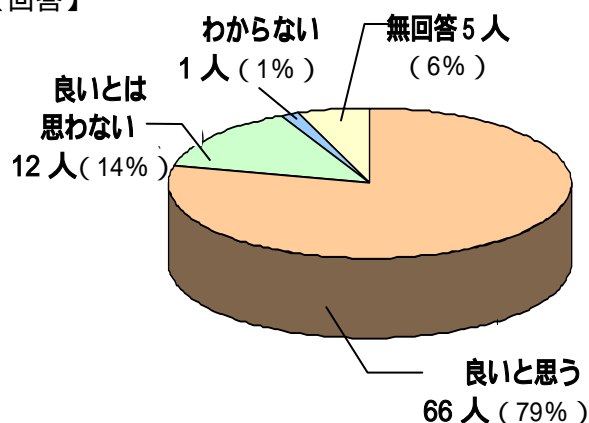
井の口川水系河川整備計画では、将来へ良好な河川環境を引き継いでいくため、また、河川と住民の皆さんとの関係をより緊密にしていくために、河川愛護精神の醸成が重要と考え、住民参加による河川の維持管理を提案しています。

地域と協働した維持管理活動（除草、ゴミ掃除など）について、どのようにお考えですか？

（1つ回答）

良いと思う  
良いとは思わない  
わからない

【回答】



## 【対応】

(1) 維持管理についての住民意識(アンケート回答結果から)

アンケートの回答から、地域協働の維持管理活動が「良いと思う」と答えが方が79%(66人)を占めました。しかしながら、「良いとは思わない」と回答された方が14%(12人)います。



**『地域協働の維持管理活動の啓蒙と推進に努めます。』**

(「井の口川水系河川整備計画(案)」P.13 参照)

(2) 地域協働の維持管理活動についての自由意見(【設問7.】自由意見から)

地域協働の維持管理活動に対する具体的な住民要望

- 1)モデル区間、重点区間を設け、期間等を定め取り組んではどうか(当日22、事後41、48)
- 2)行政側からの資金的な援助、維持管理費等の確保も必要(当日8、9、25、事後8、16)

「良いとは思わない14%(12人)」の理由

14%(12人)の方が「良いとは思わない」と答えています。その理由を自由意見からみると「住民の負担が重い(当日4、24、事後18)」、「管理者である県の対応が遅い(事後43)」と述べられています。



## 【河川管理者の回答】

ゴミの不法投棄、草刈りなどの日常的な河川の管理に関しては、地域住民の方の協力が欠かせません。官民一体となった井の口川の環境保全に取り組むため、河川愛護精神の啓蒙を行うとともに、維持管理面での資金的な対応を検討していきます。

## 【設問7. 記述でいただいた自由意見】

アンケートで記述いただいた自由意見の全文を転記しています。また【設問3.】～【設問6.】について記入いただいた意見についても併せて整理しています。

(各ご意見の表示番号は、当日および事後のアンケート回答の整備番号です。)

---

### 「設問3. 治水整備の目標について」に関する意見

#### 1. 「もっと安全にしてほしい」と答えた方のご意見

- (当日 24.) 50年に1回の洪水と言われますが、私70で何回も体験しておりますが、もっと安全にしたい。
- (当日 34.) 上流の宅地造成により一時的な増水も考慮して、将来的なものにして下さい。
- (事後 1.) 安全第一
- (事後 16.) 新聞報道によりますと、先の福井豪雨では、国のマニュアルによる目標設定では対応出来なかったとされており、地域住民の生命と財産を守るため、井の口川水系の河川整備計画(案)についても目標設定を見直す必要がある。
- (事後 18.) 自然環境も大切なことであるが、今回の福井豪雨を参考に、自然の変化に対応できる計画で整備してほしい。
- (事後 28.) 福井豪雨を教訓に推進すべき。
- (事後 42.) 集中豪雨予想されるならば。



【河川管理者の回答】

【設問3.】(P.2)を参照してください。

---

### 「設問4. 河川環境・生態系への配慮について」に関する意見

#### 1. 「良いと思う」と答えた方のご意見

- (当日 5.) 大瀬川には蛭もいて、これからも初夏の風物詩として楽しめる環境を維持してほしい。
- (当日 10.) 特別に貴重な動植物が有るからと云うのではなく、食物連鎖を考えた形で、保全生態系への配慮を実施して行く必要がある。実際には嫌われやすいような葦なども管理しやすい形で残せるよう配慮すべきと考えます。
- (当日 20.) 今までの生態についてまとめた上に、三味線川などの支流の整備が必要であり、全体的な対応が必要
- (当日 22.) 重点区間を作って、住民参加による管理重点モデルとする。
- (当日 27.) 自然のままの感じが出る様にして欲しい。
- (当日 34.) 自然環境、動植物を重視した河川にして下さい。
- (事後 1.) 今は必要と思います。
- (事後 13.) 50年前頃までは鮭が遡上していた。下流まで綺麗な水であるように、環境保全に配慮をして欲しい。
- (事後 28.) 子供達が泳げる程度の水質確保を目標にしてほしい。
- (事後 31.) 標準断面図からみて、水量が少ない時と多い時では河底に土砂が堆積したり、護岸が流出する等の対策を充分検討して頂きたい。
- (事後 40.) ここ数年、魚類等生息環境がよくなっている。
- (事後 42.) 自治体や河川管理者による降雨や河川の状況、情報、伝達が早く正確に行われるならば。

2. 「良いと思わない」と答えた方のご意見

- (当日 4.) 土砂が溜まった時に改修工事が出来ない設計はダメである。植生は流量断面を減らす。毎年、住民が草刈りをしなくてはならなくなる。
- (事後 2.) 下水道関係の放流が未だ有り、また、工業団地、ゴミ捨て場等の排水計画と保全との整合性が今一つ？
- (事後 3.) 水質検査を要望。(生活水がたれ流し状になっているのではないかと思う為。)
- (事後 9.) 豊かな自然に恵まれ？ 魚・鳥・昆虫の生息・生育の場所？ 現状は水も無く、からからでゴミ・雑草だらけで連続した確保、保全、配慮もなにもないのでは？
- (事後 12.) イメージパースは別として、護岸やみお筋の保全等の管理体制(管理費等)が伴わなければダメ。
- (事後 22.) みお筋の保全、瀬・淵の形成は水の流れが悪くなるので必要無いと思う。
- (事後 41.) 河川の草刈りが出来ておらず、毎年自分で刈っているのではどうにかならないものかな。

3. 「わからない」と答えた方のご意見

- (当日 26.) 完成しても維持管理の徹底を。河川の草、泥の清掃を。



【河川管理者の回答】

【設問4.】(P.3)を参照してください。

---

**「設問5.親水整備について」に関する意見**

1. 「良いと思う」と答えた方のご意見

- (当日 2.) 施設冠水後の汚れ、清掃維持管理は行ってほしい。
- (当日 10.) 単純に公園のようになればよいと云うのではなく、安全と親水のバランスを考える必要が有る。このような川作りで成功している現地を参考にするのもよいと思う。滋賀県守山などを見に行ってはどうか？
- (当日 11.) 特に子供達に河川に興味を持たせるためにも親水性について施設及び機能を考えてください。
- (当日 15.) 橋を多くかけてほしい。井の口川の両方に道を作って欲しい。
- (当日 20.) 出来ればイベントなどの計画はどうか。
- (当日 26.) 安全管理を考えて欲しい。
- (当日 27.) 子供に安全な設計にしてほしい。もし間違っていて落ちてしまっても、どこかにつかまれる所など、上げられる様に。
- (当日 34.) 私達の子供の時のような魚のいる河川が望ましい。
- (事後 1.) 必要。しかし事故は怖いと思います。
- (事後 3.) ただし、きれいな水を前提として。
- (事後 13.) 親水機能の向上は水のきれいな川が第1条件であると思う。
- (事後 16.) 河岸の緩傾斜化等、親水機能の向上は大変よい事だと思います。水辺に近づけるだけではなく、散歩したりする事の出来る素晴らしい河川環境を築いていただきたい。
- (事後 18.) 事故防止を充分に考慮しての設備にするように。
- (事後 27.) 住民が水辺に近づけるのは良いが、子供の水の事故が起きないように対策していかなければならない。
- (事後 48.) 階段の設置と河岸の傾斜化 是非作っていただきたい。

2. 「 良いとは思わない」と答えた方のご意見

- (当日 19.) 子供達が自由に川に入れると、危険である。
- (事後 2.) イメージパースの美観管理も含めて管理費等確保出来るか。県の傘下で管理できるか？また、ボランティアに、という発言が出ないか？
- (事後 9.) 河岸の緩傾斜化をしても雑草を刈るなどの手入れがきちんとなされなければ意味が無く、安全性のことなども考えるべき。ただ、緩傾斜化すれば良いというものでは無い。
- (事後 12.) 現実の法面内の中で有効断面が保たれるのか。河川敷広げるべし。
- (事後 25.) 下水道工事が進み、家庭内汚水が少なくなり、これから川が美しくなるのではと、足羽川の事を考えると整備していただける方がいいのではと思いますが、人が水辺に近づける川となるとゴミが増えるのではと心配します。田んぼの辺りでも家の近くでは犬のフンに悩まされている人がたくさんいます。犬の散歩道を作るように思えてあまり賛成は出来ません。川上の工場作業所の排水状況をきちんとみてほしい。
- (事後 34.) 水の量が少ない。
- (事後 41.) 河川の掃除、住民のゴミ捨てを厳しく。



[河川管理者の回答]

【設問5.】(P.4)を参照してください。

---

**「設問6.維持管理について」に関する意見**

1. 「 良いと思う」と答えた方のご意見

- (当日 2.) ボランティアに100%頼らない維持管理も必要。
- (当日 5.) 散策道路として住民の憩いの場となれば積極的に協力する。
- (当日 8.) 維持管理費を確保してほしい。
- (当日 9.) 周辺住民ボランティアのみに頼るのではなく、補助金・報酬を考えてもらいたい。
- (当日 10.) 是非実施すべきと考える。県主導でボランティアの育成がなされればよいと思います。維持管理を今後さらに充実させる必要があると思われる。工事そのものの予算にのみ頑張るのではなく、維持に重点を置いた取り組みを望みます。その為には住民参加が大切と考えます。
- (当日 11.) 地域と市民活動グループとで協議会などを設けて維持及び管理が必要と思います。
- (当日 22.) 重点区間を作って、維持管理態勢の育成を段階的にやったら良いのでは。
- (当日 26.) 予算を理由に逃げないように。維持管理の徹底を。
- (当日 34.) 地域で維持管理できるような護岸を考えてください。
- (事後 1.) 維持管理の時代だと思えます。
- (事後 2.) 良いと思うと思うが、井の口川クリーン作戦なるものが展開出来るか？
- (事後 3.) 現に萩等植える部会や、木崎、櫛川の地域住民の皆様の手で少しずつきれいになっている。
- (事後 9.) 活動としては良いが、何か大変なことが無い限り、川の近くの人しか関心がないのではないかな。
- (事後 13.) 川との関わりを重視すべきと思う。
- (事後 16.) 河川管理者と地域が担当する内容を明確にしていく必要がある。整備には予算がつくが維持管理の予算はつきにくいように思われますが、維持管理をしっかり行ってほしい。
- (事後 25.) もっとみんなにゴミ問題を考えてほしいから、地域の方々と掃除をする人任せにしない方



がいいと思います。大人も子供も共に。

- (事後 26.) 住民参加のゴミ掃除等の維持管理の取り組みは大変良いと思う。
  - (事後 27.) 維持管理はよいが、各地で被害が起きている。護岸をもっと高く(ガードレールぐらい)するべき。
  - (事後 31.) 維持管理には、恒常的な事、および対策等を事前に住民に理解を求める事が大切と思う。
  - (事後 34.) 理想。事がおこってはじめて気がつく事が多く、難しそう。
  - (事後 41.) 年間月日を決めて実行すればよい。
  - (事後 48.) 維持管理活動については当初モデル区間(300~500m)を作って始めたら良いと思われれます。
2. 「良いとは思わない」と答えた方のご意見
- (当日 1.) 維持管理の徹底に重点を置き、常に環境の美化を図ることが重要。
  - (当日 4.) 協働とはどういう意味なのか。自分でやれと言う様に聞こえる。集落の中心部はなんとかなくても、はずれの方は出来ないのではないか。
  - (事後 12.) 笙の川クリーン作戦に参加したが、井の口川に維持管理活動が有るのか知らない。
  - (事後 18.) 住民参加の考えは良いが、ややもすると管理責任者(県)の逃げ道になると思われる。
  - (事後 43.) 地元では年1回草刈りをしているが、県の対応は遅すぎる。

### 3. 「わからない」「無回答」と答えた方のご意見

- (当日 24.) 河川敷の除草を地域の住民に押し付けられても住民の荷が重すぎます。
- (当日 25.) 地域と協働した維持管理活動の具体的方法と必要な予算措置がされるか。
- (事後 8.) 川の通っている集落に、年間幾らかのお金を払い、維持管理をしてもらった方がよいと思う。



#### [河川管理者の回答]

【設問6.】(P.5)を参照してください。

---

### 河川計画の策定に関する意見

- (当日 4.) 計画案が出来たから「とりあえず説明したと言う事実」だけ作っておこうという考え方の会である様だった。ゆっくり説明して、ひざをつきあわせて意見を聞こうと言う部分は全くなかった。
- (当日 19.) 川の流れが片寄って流れるため、住民の生活廃水、汚物が一定の場所に集中する為、不衛生である。
- (当日 21.) 説明について具体性がない。案についてはあくまで未定なことなので、住民の思いが認められないかも。今夜の説明会のPRが不足している。井の口川の付近の者だけの問題ではないので、県だけでなく市とも手をつないでやって頂きたい。管理の市移管について予算が毎年減らされているので増加した予算を公表すべきだ。
- (当日 25.) 井の口川を整備するための計画でなく、形式に基づき国へ提出するために作成した整備計画のように思われる。とても具体化はむづかしいのではないか。
- (当日 26.) 地元の意見について考えていない、取り上げていない。学識経験者は井の口川の状況を分かっている。(形式的にすぎない)
- (事後 5.) 井の口川流域全てが危険だ。整備計画を検討して欲しい。
- (事後 12.) 本アンケートは法河川区間ということでのアンケートをした。と言うが、川は上から下へ流れて正流法河川外の上流区間について河川管理者による別途計画していくことと有るが、

井の口川上流に近敦線が走るが工事中関係河川環境・生態系への配慮等について改正河川法にみあう『治水・制水・環境の総合的な河川制度の整備』特に原生林のままの河川、河川敷、川床、護岸、砂防等の不備を思うと災害の保全一つとりあげても、納得がいけない！アンケート調査用紙そのものの力点が読めない。

(事後 42.) 中小の二級河川も含めて集中豪雨による河川の危険箇所、宅地造成で雨水や下水が氾濫しやすい地域を点検して、重点的に対策を講じて井の口川整備計画してください。



【河川管理者の回答】

本整備計画では、過去の被災箇所等を考慮して、工事の実施区間を設定しています。また、計画策定のため、住民説明会、住民アンケートから住民意見を聴取し反映に努めています。危険箇所の点検・補修等の維持管理についても、通常の管理業務として適切に取り組んでいきます。

---

### 事業時期、工程に関する意見

- (当日 1.) 櫛川、河川公園付近の改修工事は完了し良好と思慮するが、上流河川の改修を早急に着工されたい。
- (当日 24.) 今の下流の改修も親水の施設整備されて大きく期待いたしておりましたが、工事がストップして10年近くになります。これからの計画が20年、本当に改修されるのでしょうか？
- (当日 34.) 宅地造成が先行して、河川改修が遅れないよう。
- (事後 1.) 早期着工
- (事後 27.) 計画は良いが、実施するのを早くするべき。橋の幅をもっと広くするべき。
- (事後 30.) 上流が開発されて行くのと河川整備とが逆転されないよう(河川整備が遅れないよう)考慮してください。
- (事後 40.) 四石橋から上流、樋詰橋の間が中州が出来、大きな雑草が茂っているので早期に改良してほしい。敦賀市産業団地が整備するまでに井の口川の改良をしてほしい。地元で説明会をお願いします。
- (事後 41.) 計画することはもとより、実行に向けて早急をお願いします。
- (事後 43.) 対応が遅い。
- (事後 44.) 井の口川の祝(いほり)橋が狭いし、前後の川幅も狭いので早急に改修をお願いします。



【河川管理者の回答】

本整備計画の策定後、早期の事業着手と完成に努めます。

平成16年度中には住民意見の集約を経て、敦賀市長へ意見伺いを行い、河川整備計画を決定します。また、事業実施に向けて地元説明会を開催し意見を聴き、計画に反映させます。

## 具体的な工事や要望に関する意見

- (当日 1.) 河川公園内の遊戯広場の床面(魚の模造型)の離脱が激しく、子供(幼児)の安全管理面から早期改修を要望する。
- (当日 9.) 三面ばりはしないんですね。絶対に三面ばりにしないで下さい。宮内橋付近断面図を見ると底の部分が非常に少ないのが気になるのですが、川底を広げられないのか、敦賀の地下水を守る為に。
- (当日 20.) 自然を考えれば、川沿いは三面張りには絶対しない様にして頂きたい。あまりセメント壁が目立たないような配慮をして欲しいと思います。
- (当日 22.) 河床掘下げによって支川の流入も容易になるようにして欲しい。
- (当日 26.) 親水性のある河川を。透水性のある構造を。地下水に戻せる河川改修を。住宅化に伴う総合計画と災害防止を。  
上流の汚染、排水の管理をして、水質管理の徹底をして欲しい(一元化した管理。たらい回しにしない様に。)
- (当日 20.) 櫛川公園地域について、除草が少ない様だ。もっと年数回はどうか。
- (当日 33.) 木崎区 上流方面に向かって。川洗い(川底の浚渫工事)土砂回収作業、逐次実施して欲しい。  
住民の出来ること。河川の中のヨシなど草刈りの実施 - 環境保全。区民に協力依頼を出す。
- (事後 2.) 50年に1回ではなく補強の30年に1度の想定を。
- (事後 3.) 昔のようにきれいな水のもと、人と自然が関わって行けるような川になるようよろしくお願ひします。ボランティアで花植えや草刈りなどしています。
- (事後 10.) 護岸を河川公園の様に整備して頂きたい。
- (事後 11.) 護岸を遊歩道を含む河川公園化し、親水環境を整備して欲しい。
- (事後 21.) 形態上、特に洪水により破られる危険が予想される箇所の護岸に万全を。
- (事後 22.) 川の中に葦が群生し、水の流れが非常に悪くなっているの、川底ざらえを早急を実施してほしい。先日の新潟の水害、福井の水害と被害が出ているので、敦賀でも被害が出る前に早く対処して下さるよう要望します。
- (事後 23.) 井の口川は戦後筋生野、沢(金山)で堤防決壊や橋梁流出等大きな災害を体験した。その後の50年は幸いにもそのような災害は出ていません。しかし、警戒水位を超えることも度々あり、決して油断できない状況です。河口から筋生野宮内橋までを治水・環境・親水の水辺公園を含む新しい河川改修計画の説明を受け、大きく期待しておりましたが、残念ながら木崎止まり。計画ではなく実行をお願いします。関連して 三味線川の改修(掘削) 野坂川(準用河川)の既定堰の所管変えと改修。既定堰は農業施設として地元で管理中なるも50年を経過した老朽施設。実に農地減少のため農家での対応困難。壊れたまま使用しているの、水田を開けるのに苦労している。このままではむしろ災害の原因にもなりかねない。
- (事後 30.) 将来は維持管理は地元となってくるが、出来る限り管理しやすいものとしてほしい。  
自然環境を守る会の人達より地元の意見を良く聞いてください。まず治水、利水を重点的に。
- (事後 35.) 整備計画の中に防火用水用施設。特に農業用用水取り入れ等を考えて工事を!
- (事後 45.) いくら川幅を整備しても、現在の様な川中に砂、泥、葦等によって、川底が上がって来る場合は同じである。足羽川の様な事にならない事を祈る。
- (事後 47.) 当地域では農業の生活基盤。日常の生活用水としてなる様な配慮をして欲しい。火災のた

めの防火的用水と利用できるように。田がある以上、農業かんがい用水が必要である。癒しの場所もあってもよいと思う。

- (事後 48.) つつじ、あじさい、コスモス等、植込みゾーンの配置。河岸全般につして雑草が生えにくいような工夫をして欲しい。(そばが育つように)遊歩道の確保。1日も早く施工できるようにお願いします。
- (事後 49.) 当面の問題として、川の中の草刈りの実施(流れをよくする) 川底の泥(堆積土)の排出・河床工事(取り除き) 全体の面積を広くする。 木崎区としての年間行事の中に地域としての環境整備に協力して進めて行く。 住宅を移動せずに堤防の高さを高くして補強。



#### [河川管理者の回答]

##### (1) 櫛川河川公園の管理について

現在、櫛川河川公園の管理については、敦賀市と協力して取り組んでいます。整備計画で述べています親水機能の向上と、河川愛護の普及・啓発のため、今後は除草や親水広場の泥かき等の維持管理について地域住民とも協力しての活動が必要と考えます。遊戯広場についてはビーズが離脱し、滑りやすくなっており危険であったため、今回応急的にビーズの除去を行いました。

##### (2) 河川の断面構造について

河川環境の保全に配慮した構造とすべく三面張りは行いません。多様な動植物の良好な生息環境を確保するためにも、みお筋や瀬・淵の形成など水際付近での配慮が重要です。河川改修にあたっては目標の治水安全度を確保したうえで、これらの配慮事項について、専門家の意見等をききながら整備を行います。宮内橋付近の断面については、みお筋や瀬・淵が形成されるよう、底幅を広げた計画に変更します。

##### (3) 上流区域の河床掘削について

現況河川の河床掘削(堆積土砂の撤去)については現地調査のうえ、河川周辺の環境や流下能力等を鑑み、適宜対応します。今回、国道 27 号から上流、野坂川合流点までの区間について、堆積土砂が著しかったため河床の掘削を実施しました。

##### (4) 改修規模について

河川整備計画では 50 年確率規模での改修工事の実施を計画しています。これは、過去の災害履歴(洪水実績)や流域の開発状況、また県内の他河川との整備バランス、費用対効果等を考慮して設定した規模であり、適切な計画であると考えます。

##### (5) 親水整備について

身近な水辺空間、自然と親しめる河川空間の創出のため親水機能の整備を行います。具体的には階段工の整備や、堤防道路の整備等となりますが、改修区間の中で通り一遍とならぬよう整備区間毎の河川および周辺地域の環境特性から適正な整備となるよう住民意見を充分に取り入れて取り組みます。

##### (6) 利水機能の整備について

現在、河川水を取水し活用されている機能の保持に努めます。かんがい用水としての利用、また防火用水としての利用といった現況を鑑み、関係する機関、敦賀市や農家組合との調整および地元意見に充分配慮し取り組みます。

##### (7) 草刈り等の維持管理を低減する工法について

草刈りや清掃等の維持管理については地域住民と協働した取り組みを検討して行きます。ただし、整備にあたり護岸を雑草が生えにくい構造とすることは、良好な河川環境の保全を図ろうとすることと相反する面が出てきます。堤防の整備にあたっては、維持管理および環境保全にそれぞれ重点を置くような区間設定(メリハリをつける)等を考えています。

#### (8)堤防の改修構造について

堤防は治水安全上重要な構造物です。それだけに整備にあたっては想定される洪水に対し十分な安全度を確保する堤防強度を確保します。現状の堤防に関しては、管理業務の中で定期的に点検パトロールを実施しており適宜、補修・補強を実施しています。また、堤防の高さを高くする改修については、確かに河川断面の確保はできますが、洪水時の水位が高くなることもあり、安全上は必ずしも推奨される手法ではないと考えます。

---

#### 法河川外区間、流域内での整備、取り組みについて

- (当日 5.) 治山治水、治山を重視して欲しい。土石流の防止を。
- (当日 5.) 山(水源地)と川は一体のものと考え、きれいな水、濁りのない水の確保から、金山橋から上流の河川整備も計画して欲しい。先ず砂防河川の管理道路を整備して欲しい。
- (事後 2.) 法河川区間の進捗が少し遅いと思われるが、法改正もあって、環境が加わると言うが、法河川外の上流区間についても環境問題は十分発生すると考えられるが、市等によって別途計画していくこととなるが、アンケート回答外ですみませんがお伺いしたいです。(清水は高い所から下へ流れる!) 災害は忘れたところに表れる!
- (事後 8.) 6月27日(日)井の口森林組合にて、井の口の林道の草刈りに行って気付いたのですが、堰堤の上には、土砂がたくさん溜まっているので取り除いて欲しい。
- (事後 8.) 金山橋の下で、川幅が狭くなっているため大雨の時にはすごい水嵩が上がるので危険を感じる時がしばしばあるので、川幅の改修を頼みます。
- (事後 9.) 整備計画は下流だけでなく、もっと上流から見べき。(県・市の境無く)金山橋の上流、下流は川幅は広いが橋の下がものすごく幅が狭い。その辺をどうお考えか回答をお願いしたい。
- (事後 10.) 堤防上を道路方式にして粟野駅につなげて欲しい。
- (事後 11.) 金山橋から上流の砂防河川の左岸に管理道路を設けて夢街道につなげて欲しい。
- (事後 13.) 井の口川整備計画対策区間は金山橋から下流を対策としているが、福井豪雨でも明らかのように、もっと上流にまで広げるべきと思う。井の口川上流の堰堤は既に流入土砂で満杯で、集中豪雨にでもなれば下流の大量の土砂が流出、せっかくの整備が台無しとなる。砂防河川として金山橋から上流を整備計画の対策とすべきであり、治山治水とリンクして進めるべきと思う。見た目にきれいな川より機能的に整備をされた河川にして欲しい。
- (事後 14.) 計画的に整備区間をどんどん上流にもって行き、住民と共に利用できる道路、河川敷を広げて行ってほしい。



#### 【河川管理者の回答】

法河川以外の区間の整備や治山事業に関する整備については、流域の整備として、敦賀市や農林部局といった関連機関との協議調整を図ります。砂防事業関係の整備については現地調査のうえ、地元意見を聞きながら対応して行きます。また、上流区間での管理道路の確保については敦賀市及び砂防事業での対応と考えられるため、流域内での一貫した水系管理の面でも検討の必要があると考えます。

## その他

(当日 7.) 水のない川を作ったり、橋が落ちそうな所、護岸の底の浮いた所、多数上流にある。点検をして下さい。

(事後 33.) 近年、上流の開発により過去の 50 年間と大違いです。



### 【河川管理者の回答】

日常の維持管理活動として、現況施設の損傷など、治水上危険な箇所についての点検・補修に取り組んでいます。

また、流域の開発状況については敦賀市の都市計画を踏まえた将来形を考慮し、洪水の流出形態を検討しており、それらに対応出来る改修を計画しています。